

えんだより

R7. 10

10月になりました。先週の運動会では、子どもたちは保護者の方に自分の一生懸命がんばる姿を見てもらうことができました。苦手なことにも挑戦し、それぞれが自分らしさを出せたのではないのでしょうか。保護者の方、お友だち、保育者の応援する気持ちがしっかり子どもに伝わり、たくさんの感動がありましたね。最近朝晩が秋らしい気温になってきました。5月に植えた畑のさつま芋が収穫の時期になります。天気を見ながら芋ほりをしたいと思います。収穫後は少し熟成させ、甘くなったところに焼き芋会を計画しています。月末にはさんま焼きパーティも行います。炭火で焼いたさんまは、毎年子どもたちがとても楽しみにしています。秋といえば読書の秋。先日は熊の子ゴルフコンペ参加者一同様より図書カードの寄付をいただき、たくさんの絵本を購入することができました。身体を動かすことも、食べることも、絵本も大好きな子どもたちと秋を楽しみたいと思います。

10月の予定

9日(木)	半日保育士(しずぐみ)
10日(金)	お弁当日 / ひかりクリーンデイ
11日(土)	塩冶ふれあいまつり(たいようぐみ ステージ発表 10:15~)
15日(水)	誕生会 / 子どもケア
15日(水)~17日(金)	出雲西高等学校保育実習 1名
16日(木)	剣道
20日(月)	音楽療法(たいよう・つき・ほし) ※1
20日(月)~24日(金)	さわやか大作戦
22日(水)	公開保育 ※2
23日(木)	避難訓練(不審者対応)
29日(水)	英語
30日(木)	さんま焼き
31日(金)	1日保育士(ほしぐみ)



※1 音楽療法について

札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科 音楽療法コース
教授 高田 由利子先生による音楽療法の体験をします。音楽の特性を活かして、集団活動での他の子どもとのコミュニケーションの中で、社会性や協調性の向上を図ることもできます。集団活動が苦手な子どもでも、音楽という非言語的コミュニケーションによって集団に入るきっかけになります。周りと同じタイミングで音を鳴らしたり、自分の番まで待つことが出来るようになったりすることで、保育園や学校などの生活場面で周囲と合わせる能力を身に付けることが出来ます。

<交通安全について>

9月の中旬に駐車場を整備しました。出雲市の保育園で駐車場での事故が起こり、悲しい結果になったことを受けてこのように整備した次第です。基本は緑で染めたところを歩くということです。保護者が外側を歩き、お子さんと手を繋いで歩きましょう。また、車に乗ったらしっかりシートベルトをつけましょう。交通ルールを守って安全に過ごしたいですね。

<子どもの育ちと「ほめる」「叱る」>

簡単なようで、実は難しいのが育児の中の「ほめる」と「叱る」です。「ほめる」ことは育児の中で欠かせない要素の1つですね。「えらい」「すごい」「上手だね」というほめ言葉をかける事だけではありません。子どもの気持ちを受け取ったり、その子ならではの良さを認めたりする関わりも全て「ほめる」行為と言えます。親や身近な人にほめてもらうと子どもには「自分はこれでいいんだ」という自己肯定感や「自分もできるんだ」という自己有能感が育ちます。そうした感覚は自信や意欲、計画性、他者や社会での基本的な信頼などにつながり子どもが人生を生きていくうえでの基礎となります。「こうするといつもほめられる」という経験を繰り返すと子どもはどうすればいいのかという見通しを持てるようになり、やがて自ら考えて行動できるようになります。

また、「叱る」でも同じことが言えます。ただ叱られて怖い、理不尽だと感じる経験は「大人に叱られるからやめておこう」という要領を身につけるだけになりがちです。子ども自身が「こういうことはよくないな」と納得できる叱り方であれば道徳心が養われ、子どもの成長につながっていきます。片付けが上手にできた時は例えば「すっきりして気持ちがいいね」「次に使うときに使いやすいね」など、理由も添えると子どもが先のことを考え見通しを持って行動できるようになります。叱る時も「こうするともっと良かったね」悪い行為をした場合は「〇〇したかったんだね(いったん認める)」「でも〇〇するのは危ないよ」「でも〇〇するのは〇〇ちゃんがイヤみたい。〇〇ちゃんのことを考えようね」などです。

子どもは頭では悪いとわかっているやってしまうことがあります。友だちを叩いてしまうのも何かしらむしゃくしゃしていることがあり、つい手を出してしまうなどその行為には背景や理由があります。

なぜそうしたのかなと子どもの気持ちに寄り添うことも大切です。ただのわがままを通すといった場合も感情的に怒りをぶついたり大声で責めないようにしましょう。こんなことされたらイヤだな。どうしたらいいかなと子どもが自分のしたことに向き合い次の行動を考えられるように促すことが大切です。「ほめる」にしても「叱る」にしても子育ては難しいなと思うこともあります。まわりの家族や友だち、保育者などに相談したり思いを打ち明けて親本人(自分の)気持ちを理解してもらいながら日々を送れるといいですね。

園長 筆

※2 公開保育について(お知らせ)

出雲市による保育の質の向上のための公開保育委託事業で、今年度はひかり保育園が実施対象園となっています。当日は市内の約20カ所の保育施設から保育士が研修会に参加します。研修は午前中で終了します。よろしく願いいたします。